

「大阪・関西万博」での現在地

近畿大学理工学部 柳原崇男

1

参加の経緯

- ユニバーサルデザイン検討会
- 施設整備に関するユニバーサルデザインワークショップ（テーマ別検討会）」移動／案内／誘導に関する検討会
- ユニバーサルサービス検討会
- 日本館
- ナビタグの検証（主に視覚障害）
- 車いす利用者による施設（ハード）の利用評価

2

ナビタグについて



3

万博探検イベント

「大阪関西万博探検！ナビタグを使って、歩いて、楽しもう！！」

主催：Next Vision、ナビタグで未来を変えるプロジェクトチームOTAGAISAMA

- 第1回：4/27（日）
- 第2回：5/21（水）
- 第3回：6/22（日）
- 第4回：7/20（日）
- 第5回：8/24（日）
- 第6回：9/23（火・祝）
- 第7回：10/5（日）

4

ShikAI評価

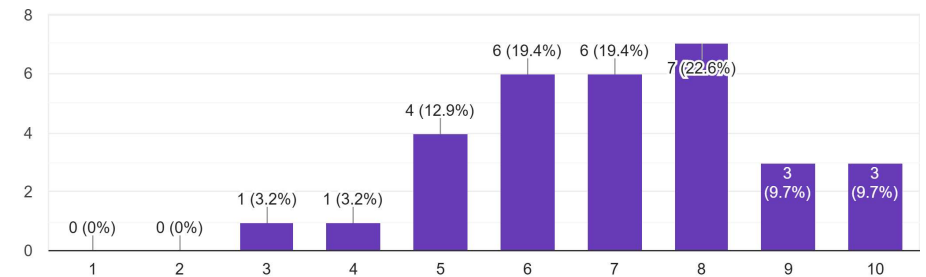
- 道案内自体は完璧でした。今までナビアプリをいくつか使いましたがピッタリ目的地にたどり着けたのはこれが初めてです。ただ、**会場内が点のブロック間の距離が長すぎたため歩いている間情報が得られない時間があり多少不安になることがあったので、それが解消されれば問題はないです。**
- 点字ブロックを辿れば、遠い場所へも誘導してくれるので安心感がある。**スマホの消費電力が多いので、改良してほしい。読み取り精度がよくなっていると感じた。
- 次のタグまでの距離が長い場合、アナウンスのない状態が長く続く。そのために目的の方向に正しく進めているのかどうか不安になる。正しい経路に歩いているかどうか、方向、距離の変化、通過点のスポット情報もアナウンスしてくれると安心する。
- 会場内での点字ブロックの敷き方に問題があるため、目的のパビリオン近くでShikAIのガイドが終了し、迷ってしまったことがあります。**

5

ShikAI評価

ShikAI を利用した会場内の誘導について総合的に10段階で評価してください。

31 件の回答



6



万博会場内の点字ブロックの配置図（2022年12月9日）
出典：日本国際博覧会 施設整備に関するユニバーサルデザインワークショップ（テーマ別検討会）開催報告まとめ②【第2回移動／案内／誘導に関する検討会】議事概要

万博会場内のShikAI設置箇所

7

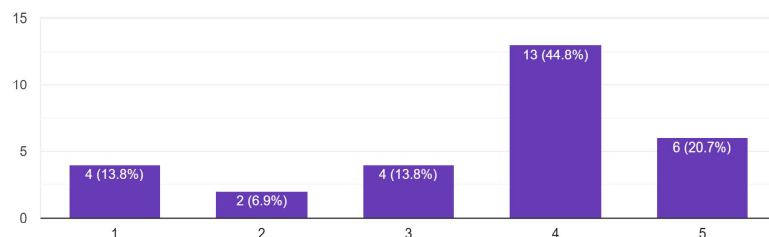
大阪ヘルスケパビリオン・ナビレンス評価

- 館内が**どんな展示がされているのかおおまかに分かり楽しかった。**また、**お店もわざわざ見えている人に聞かなくてもどういったお店があるのか分かり、嬉しかった。**ただ、あまりにも情報が一度にたくさん入ってきて、今の位置がその情報なのかなどが判断しづらかった。
- 展示物の説明も、どこにあるかもよく分かったので、満足しました。
- どこに何の展示があるかが理解できました。
- ナビタグを探しづらかった。情報量が多すぎることがあった。
- 反応するタグが多すぎて情報量が多すぎる。**もう少し短い説明で良い。人混みでゆっくり聞いていられなかった。

8

ナビレンス評価

展示内容について理解を深めることができた
29 件の回答



まとめ

- ナビタグの設置と施設整備の連携
 - 点字ブロックとShikAI
 - 建物入り口のナビレンス
 - 日本館でのナビレンスと手すり、ガイドレール
- アプリのアクセシビリティ（特に視覚障害者等への万博アプリ等の使いにくさ）